

## 第3回「東海財界倶楽部」例会開催

# ティア富安徳久代表取締役 「<sup>じんせい</sup>尽生と<sup>しごと</sup>志事」をテーマに



平成二十六年六月六日、第三回「東海財界倶楽部」例会が開催された。同会は東海地方で活躍する経営者を中心とした異業種交流会。当日は株式会社ティア代表取締役の富安徳久氏が、演題を「<sup>じんせい</sup>尽生（じんせい）」と志事（しごと）」と題して講演。親睦会などが行われた。

平成二十六年六月六日、ホテルオークラレストラン一四階「暁の間」（名古屋市東区東桜一―一四―二五）〇五二―二〇一―三二〇一にて、第三回「東海財界倶楽部」例会が開催された。「東海財界倶楽部」は、愛知県・

岐阜県・三重県に拠点を有するトップ経営者を中心とした異業種交流会。経営者同士の知識・情報交換および意識向上の機会を設けることを目的とする。

第三回の例会となる当日は、午後六時から受付を開始。正会員・準会員を含め中部地区で活躍する経営者ら約二〇名が出席した。

午後六時四十五分からの第一部では、株式会社ティア代表取締役の富安徳久氏を講師に迎え、演題を「<sup>じんせい</sup>尽生（じんせい）」と志事（しごと）」―ティア流葬儀サービス―として講演。

ティアは二〇一三年六月東京証券取引所に上場。昨年九八〇〇件の葬儀を取扱い、今年一万件超を目標に掲げる、葬儀取扱件数日本一の葬儀社。

日本で一番「ありがとう」と言われる葬儀社を目指す代表取締役の富安徳久氏は、葬儀のしごとから得た経験を活かして各種講演を数多くこなす。また、徳育的な観点を重視した独自の社員教育プログラム「ティアアカデミー」などで人材育成にも力を入れている。

当日は富安氏が自身が葬儀ビジネスに参入し、ティアを創業した経緯を語ると共に、祖母の「他人のために生きることが飯を食うことになったら、こんなに幸せなことはない」という言葉を通して、経営者としての志や社員教育について熱く語った。

午後七時四十五分からの第二部では、税理士法人アクシス主宰代表社員の廣瀨将一氏の発声により乾杯。立食形式での晚餐を交えた親睦会が和やかに行われた。最後はステイルツ代表取締役の岡田篤嗣氏による一本締めで中締めが行われた。

次回の「東海財界倶楽部」例会は平成二十六年八月四日午後六時半より、名古屋東急ホテル四階「栄の間」にて開催予定。